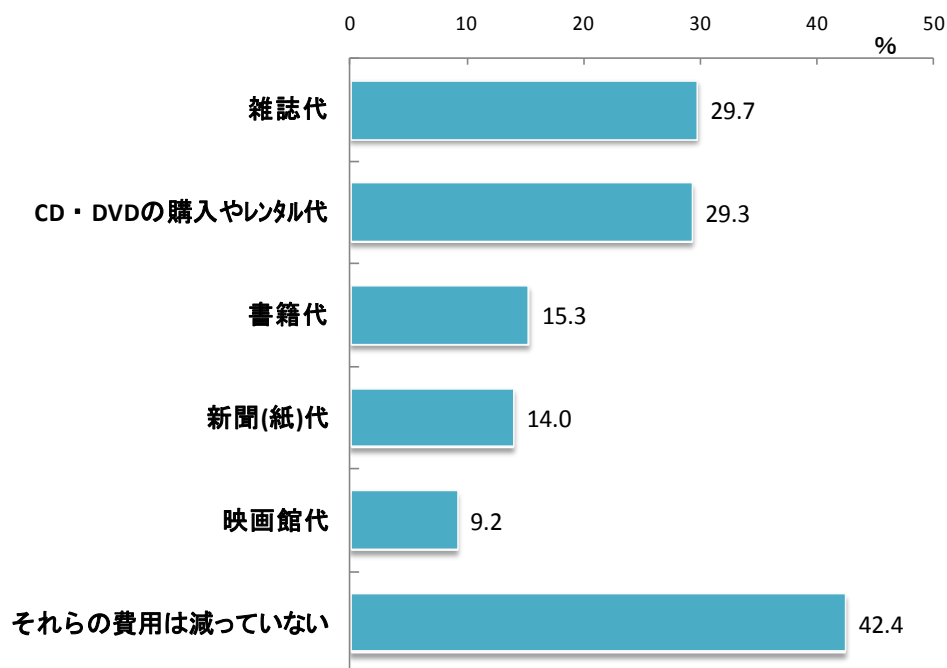


携帯電話やパソコンを使うようになって、支出が減ったものがありますか？（複数回答）



我々の日常にすっかり欠かせない存在となった携帯電話やパソコンですが、これら新しいメディアツールの登場によって、家計における情報・娯楽媒体への支出は変化したのでしょうか？

総務省調査によると、この10年間で岡山県の携帯電話世帯普及率※は64.9% (1999)→94.8% (2009)、パソコン普及率は37.5% (1999)→78.4% (2009)へと増加し、共に全国平均をやや上回っています。通信料の低下やサービスの多様化などにより、携帯電話やパソコン利用の割高感は薄れていますが、家計調査をみると移動電話通信料、インターネット接続料などは毎年増加しています。対して、雑誌代や書籍代などは毎年減少しているのが現状です。

そこで、毎月「岡山生活者意識調査」にご協力いただいているモニターの皆さんに、情報・娯楽媒体への支出の変化について質問をしてみました。その結果、最も支出が減ったのは「雑誌代」29.7%、「CD・DVDの購入やレンタル代」29.3%などとなりましたが、「それらの費用は減っていない」42.4%が最も多い回答となりました。

※単身世帯を除く。

【調査概要】

調査時期：2010年10月25日(月)～10月31日(日)

調査対象：岡山県在住の男女229名(「岡山生活者意識調査」にご協力いただいているモニター様)
(回答率88.1%)

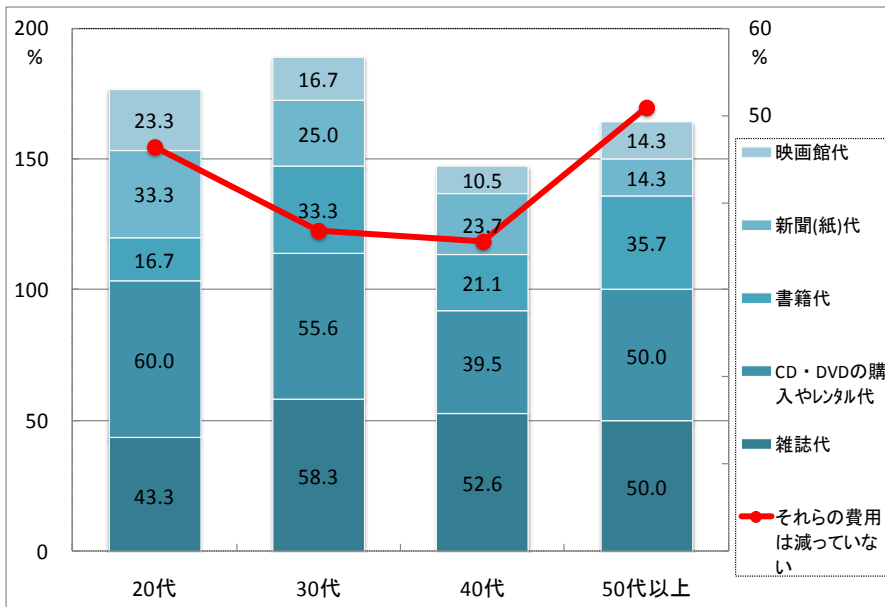
調査方法：インターネット調査 ◎男性50.2%、女性49.8%

◎20代24.5%、30代24.9%、40代25.3%、50代以上25.3%

◎岡山市48.1%、倉敷市23.6%、その他県内28.3%

●携帯電話やパソコンを使うようになって、支出が減ったのは？

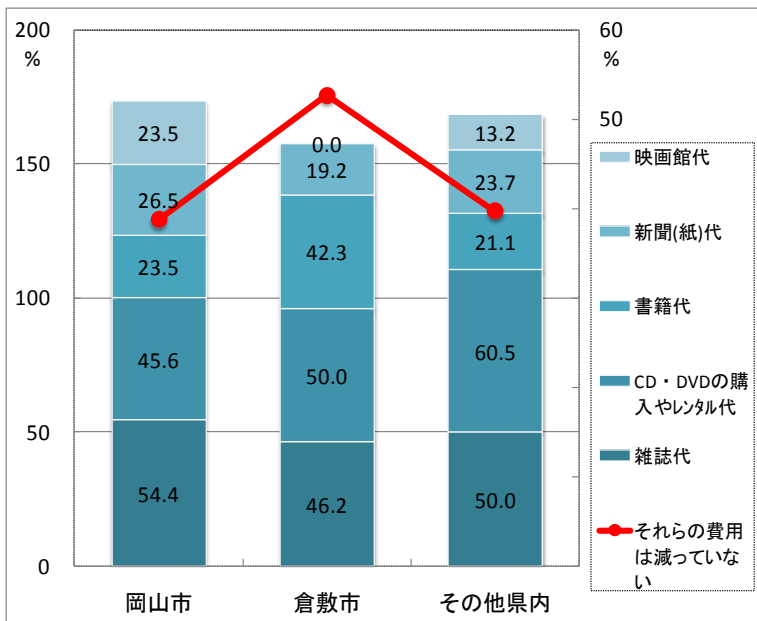
【年代別】



年代別でみると、「それらの費用は減っていない」と回答したのは50代以上50.9%が最も多く、少ないのは30代36.5%や40代35.6%。減っていない理由としては、“情報・娯楽媒体に対する価値観が高い” “もともと情報媒体にさほど

のお金をかけていなかった” “家計の余裕がある”などが考えられる。続いて、支出が減ったという回答のみを抽出し、その内訳をみてみた。全ての年代で共通して大きく減っているのは「雑誌代」と「CD、DVDの購入やレンタル代」となっている。

【地域別】



地域別でみると、「それらの費用は減っていない」と回答したのは倉敷市52.7%が飛び抜けて多い。また、支出額が減ったものについても、倉敷市は「映画館代」0.0%、「書籍代」42.3%など、岡山市やその他県内と大きく異なる結果となっている。

本件に関するお問い合わせ

協同組合 岡山情報文化研究所／原内
〒700-0824 岡山市北区内山下1-3-1 電話 086-225-8181
「岡山トレンドウォッチャー」(<http://www.vis-a-vis.co.jp/>)